

過去のアンケート結果との経年比較

(1) 市民アンケート

問1 SDGs（持続可能な開発目標）について

	内容を知っていた	内容はよく知らなかったが、聞いたことはあった	聞いたことがなかった
令和5年度	56.7%	36.3%	6.6%
令和元年度	7.0%	22.2%	67.5%

問2 「パリ協定」について

	内容を知っていた	内容はよく知らなかったが、聞いたことはあった	聞いたことがなかった
令和5年度	22.2%	60.3%	17.3%
令和元年度	25.3%	50.6%	21.2%

問5 「適応策」について

	内容を知っていた	内容はよく知らなかったが、聞いたことはあった	聞いたことがなかった
令和5年度	12.5%	33.8%	53.5%
令和元年度	10.1%	36.6%	50.4%

問6 伊勢市の現在の環境に対する満足度および重要度について（満足度）

※「満足している」、「どちらかという満足している」を合算した割合

	ア. 静けさについて	イ. 空気のさわやかさについて	ウ. 日当たりのよさについて	エ. まちなみの美しさについて	オ. まちなみのゆとりについて
令和5年度	52.8%	63.5%	69.8%	37.4%	29.0%
令和元年度	49.9%	58.3%	60.7%	29.9%	24.8%
平成26年度	56.7%	59.1%	65.7%	32.1%	29.9%
	カ. まちなみの清潔さについて	キ. 歴史的な雰囲気について	ク. 自然景観について	ケ. 水辺景観について	コ. 野鳥、昆虫などの生き物とのふれあいについて
令和5年度	38.1%	54.1%	54.5%	35.8%	26.1%
令和元年度	28.2%	42.9%	41.2%	28.5%	19.1%
平成26年度	30.2%	55.5%	53.1%	34.8%	28.3%
	サ. 樹木や草花とのふれあいについて	シ. 土とのふれあいについて	ス. 釣りやサイクリングなどの行楽について	セ. 全般について	
令和5年度	35.9%	25.8%	19.4%	49.2%	
令和元年度	24.6%	18.3%	15.2%	34.2%	
平成26年度	33.6%	25.6%	19.5%	39.9%	

問6 伊勢市の現在の環境に対する満足度および重要度について（重要度）

※「重要である」、「やや重要である」を合算した割合

	ア. 静けさについて	イ. 空気のさわやかさについて	ウ. 日当たりのよさについて	エ. まちなみの美しさについて	オ. まちなみのゆとりについて
令和5年度	84.2%	89.2%	88.9%	88.7%	79.4%
令和元年度	82.2%	88.7%	86.0%	87.9%	79.5%
	カ. まちなみの清潔さについて	キ. 歴史的な雰囲気について	ク. 自然景観について	ケ. 水辺景観について	コ. 野鳥、昆虫などの生き物とのふれあいについて
令和5年度	92.6%	80.4%	86.5%	84.2%	62.9%
令和元年度	89.6%	77.9%	86.3%	82.1%	57.6%
	サ. 樹木や草花とのふれあいについて	シ. 土とのふれあいについて	ス. 釣りやサイクリングなどの行楽について	セ. 全般について	
令和5年度	75.2%	61.6%	57.6%	82.8%	
令和元年度	70.8%	58.3%	52.0%	78.6%	

問7 環境保全の取組状況について

※「いつも実施している」、「時々実施している」を合算した割合

	ア. 日常生活で節電に気をつけている	イ. 省エネルギー型の家電製品を選択して購入している	ウ. 太陽光発電や太陽熱利用などの再生可能エネルギーを利用している	エ. 外出の際には自転車や公共交通機関を利用している	オ. 自動車を運転する際にはエコドライブを実践している	カ. 自動車を購入したり借りたりする際には、ハイブリッドカーや電気自動車等のエコカーを選択している
令和5年度	94.4%	73.0%	24.0%	42.8%	80.5%	41.0%
令和元年度	89.1%	75.7%	16.4%	41.2%	63.4%	29.2%
平成26年度	90.4%	70.6%	15.2%	42.0%	65.6%	13.9%
	キ. 日常生活においてできるだけごみを出さないようにしている	ク. フリーマーケットやリサイクルショップを積極的に利用している	ケ. ごみは地域のルールに従ってきちんと分別し、リサイクルに協力している	コ. 生ごみ処理機を使用してごみを減量している	サ. 生ごみを出すときは水切りを徹底している	シ. 食品ロスを減らすよう努めている
令和5年度	77.7%	43.2%	94.5%	17.7%	86.2%	93.3%
令和元年度	78.3%	32.5%	94.0%			
平成26年度	81.2%	32.6%	94.2%			
	ス. できるだけプラスチックごみが出ないようにしている（マイボトル・マイカップの使用、マイバッグの使用等）	セ. なるべく地域の農林水産物を購入するようにしている	ソ. エコマーク商品など環境に配慮した商品を選択している	タ. 余暇には自然とふれあうように心がけている	チ. 生活排水に気をつけている（油や食べかすを排水口から流さない等）	ツ. 日常生活で節水に気をつけている
令和5年度	83.2%	84.0%	65.8%	65.3%	89.2%	91.1%
令和元年度	83.1%	73.8%		54.5%	84.6%	84.9%
平成26年度		79.0%		56.5%	85.0%	86.1%
	テ. 宅配ボックス、置き配、日時指定などを活用し、再配達を削減している	ト. 地域の清掃活動や植樹活動に積極的に参加している	ナ. 家庭や地域で環境教育を実施または参加している	ニ. 環境に対してよいと思うことを人に勧めたり、広めたりしている		
令和5年度	76.8%	46.8%	33.4%	39.4%		
令和元年度			25.5%	29.4%		
平成26年度			14.9%	31.1%		

問8 環境保全の取組を促進するために必要なことについて

	1. 大気・水質浄化の状況など、取り組んだ行動の環境保全効果が目に見えること	2. 省エネによる光熱費節約やエコポイントの獲得など、直接的なメリットがあること	3. 環境保全のマニュアルやチェックリストなど、取組方法についての資料が手に入ること	4. 自分だけでなく、みんなと一緒に取り組む運動として行うこと
令和5年度	55.1%	61.4%	28.7%	46.5%
令和元年度	54.5%	54.0%	28.9%	46.7%
平成26年度	54.9%	53.2%	28.1%	47.8%
	5. 補助金など、支援制度が使えること	6. 表彰制度など、行動の励みとなるものがあること	7. 法令等による規制を強化すること	8. 環境について学ぶ機会があること
令和5年度	53.8%	11.4%	26.5%	45.8%
令和元年度	49.6%	10.1%	26.7%	40.2%
平成26年度	46.8%	11.9%	24.6%	

問9 環境保全に関連した市民活動の取組状況

	1. 取り組んでいる	2. これまでに取り組んだことがある	3. 取り組んでいない
令和5年度	9.6%	30.9%	57.4%
令和元年度	7.7%	27.2%	57.8%
平成26年度	6.8%	20.3%	64.3%

問9 取り組んでいる、取り組んだことのある活動内容

	1. 地球温暖化防止活動	2. リサイクル・廃棄物削減の活動	3. 環境に配慮した消費・生活の普及活動	4. 森林の保全・緑化活動	5. 自然保護活動
令和5年度	17.6%	52.6%	19.0%	22.9%	7.9%
令和元年度	12.4%	50.3%	11.7%	12.4%	9.0%
平成26年度	16.8%	81.3%	23.4%	13.1%	21.5%
	6. 水環境保全活動	7. 大気環境保全活動	8. 町内清掃等の地域生活環境管理活動	9. 環境教育・学習会の開催等の活動	
令和5年度	18.2%	6.3%	76.9%	16.0%	
令和元年度	10.3%	4.1%	76.6%	7.6%	
平成26年度	15.0%	6.5%	6.5%	10.3%	

問9 環境保全に関連した市民活動の今後の意向

	1. 取り組みたい	2. 取り組みたくない
令和5年度	65.6%	29.8%
令和元年度	56.9%	28.2%
平成26年度	60.0%	24.3%

問9 今後取り組みたい活動内容

	1. 地球温暖化防止活動	2. リサイクル・廃棄物削減の活動	3. 環境に配慮した消費・生活の普及活動	4. 森林の保全・緑化活動	5. 自然保護活動
令和5年度	41.0%	54.4%	31.6%	35.2%	39.6%
令和元年度	31.8%	44.9%	27.1%	26.7%	29.2%
平成26年度	26.2%	44.7%	31.6%	34.2%	47.3%
	6. 水環境保全活動	7. 大気環境保全活動	8. 町内清掃等の地域生活環境管理活動	9. 環境教育・学習会の開催等の活動	
令和5年度	31.6%	19.9%	50.3%	19.0%	
令和元年度	21.6%	11.0%	50.8%	14.0%	
平成26年度	25.7%	19.8%	12.2%	11.4%	

問11 市民活動に取り組んでいない、取り組みたくない理由

	1. 活動する時間がないから	2. 活動に関する情報が得られないから	3. 活動を行う資金がないから	4. 参加する手順がわからないから	5. 知っている人が参加していないから
令和5年度	39.6%	20.7%	10.2%	17.5%	11.4%
令和元年度	63.8%	35.0%	18.3%	30.0%	15.6%
平成26年度	56.6%	26.9%	18.6%	24.0%	12.3%
	6. 社交が苦手だから	7. 何もメリットがないから	8. 活動団体が本来の活動をしていないから	9. 市民活動に興味がない	10. 楽しくないから
令和5年度	22.2%	5.9%	6.0%	8.2%	6.7%
令和元年度	28.0%	6.2%	5.8%	11.3%	7.8%
平成26年度	28.6%	9.4%	4.3%	15.7%	6.6%

問12 伊勢市がめざすまちの姿について

	1. 太陽光などの再生可能エネルギーを積極的に利用するまち	2. 電気自動車等のエコカーが普及したまち	3. エネルギー消費が少なく、温室効果ガスの排出が少ないまち	4. ごみの減量やリサイクルに積極的に取り組むまち	5. 森林など多くの自然が残されているまち	6. 海、河川、池がゆたかきれいなまち
令和5年度	15.3%	9.5%	16.3%	25.6%	26.6%	33.6%
令和元年度	14.7%	9.4%		32.3%	22.4%	23.4%
平成26年度	26.1%	6.1%		26.6%	20.0%	41.3%
	7. 公園や街路樹などの緑が多いまち	8. 鳥や昆虫などとふれあう場所が残されているまち	9. イノシシ・アライグマ等の野生鳥獣による農作物被害や生活被害の少ないまち	10. 飲料水がおいしいまち	11. 公害問題も少なく、安心して住めるまち	12. 明るく、清潔なまち
令和5年度	13.7%	2.9%	8.4%	15.9%	16.9%	17.7%
令和元年度	16.9%	3.6%	10.6%	24.6%	31.1%	25.1%
平成26年度	11.9%	5.3%		17.5%	30.6%	17.0%
	13. まちなみが整然として、美しい景観のまち	14. 文化的遺産が多く、歴史的雰囲気のあるまち	15. 自然・歴史と都市化が共存した美しいまち	16. 通勤、通学、ショッピングなどの交通の便がよく、効率的なまち	17. 高齢者や障がい者、子育て世代にやさしいまち	18. 環境について学んだり、環境保全活動に参加したりする機会の多いまち
令和5年度	11.3%	7.0%	16.2%	24.1%	26.4%	1.4%
令和元年度	16.9%	12.5%	17.8%	31.8%	28.7%	2.9%
平成26年度	9.9%	13.7%	14.7%	20.3%	25.3%	2.8%

問14 伊勢市が重点的に取り組むべき施策について

※「重要である」、「やや重要である」を合算した割合

	ア. 再生可能エネルギー導入の推進	イ. 電気自動車等のエコカーの普及	ウ. 省資源、省エネルギー対策の推進	エ. 3R（発生抑制、再使用、再生利用）の推進	オ. 農地や森林等の保全
令和5年度	77.7%	62.5%	83.9%	84.2%	86.4%
令和元年度	63.9%	63.6%	80.2%	83.6%	81.9%
平成26年度	72.2%	57.7%	81.3%	82.8%	83.0%
	カ. 獣害対策の推進	キ. 生物多様性の確保	ク. 自然とのふれあいの増進	ケ. 大気汚染対策の推進	コ. 自動車交通対策の推進
令和5年度	81.8%	75.2%	77.8%	87.4%	85.0%
令和元年度		68.2%	71.6%	84.4%	81.7%
平成26年度		72.6%	75.7%	81.2%	81.3%
	サ. 川や海の水質保全	シ. 環境美化の推進	ス. 住環境の向上	セ. 歴史的、文化的資産の保存、継承	ソ. 景観に配慮したまちづくり
令和5年度	91.8%	88.5%	87.7%	82.0%	82.4%
令和元年度	87.7%	84.6%	81.2%		78.3%
平成26年度	89.3%	83.8%	80.5%		79.2%
	タ. 公園、緑地の充実	チ. バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進	ツ. 環境学習機会の充実	テ. 環境に関する情報の提供・共有	ト. 伊勢の環境文化の保全と発信
令和5年度	83.0%	84.7%	74.6%	78.8%	80.8%
令和元年度	75.6%	83.4%	63.4%	72.3%	75.9%
平成26年度	74.2%	78.4%	62.3%	69.4%	70.4%

(2) 事業所アンケート

問1 SDGs (持続可能な開発目標) について

	内容を知っていた	内容はよく知らなかったが、聞いたことはあった	聞いたことがなかった
令和5年度	51.9%	39.1%	8.4%
令和元年度	8.2%	30.1%	60.0%

問2 「パリ協定」について

	内容を知っていた	内容はよく知らなかったが、聞いたことはあった	聞いたことがなかった
令和5年度	26.0%	61.8%	11.6%
令和元年度	29.6%	57.7%	12.1%

問5 「適応策」について

	内容を知っていた	内容はよく知らなかったが、聞いたことはあった	聞いたことがなかった
令和5年度	14.9%	37.3%	47.2%
令和元年度	13.2%	46.5%	39.4%

問6 環境保全の取組状況について

※「既に実施している」、「現在検討中である」、「今後取り組む予定」を合算した割合

	ア. 事業活動における地球温暖化防止への取組の実施	イ. 電気自動車等のエコカーの導入	ウ. 太陽光発電などの再生可能エネルギーの設置	エ. エコマーク品などの環境に配慮した技術・製品の開発	オ. 環境負荷の少ない原材料や部品の利用
令和5年度	43.2%	35.3%	29.8%	14.1%	48.0%
令和元年度	35.7%	30.7%		16.6%	
平成26年度	38.9%	29.5%		15.2%	
	カ. ごみ排出が少ない事業活動の実践	キ. リサイクル技術・製品の開発	ク. 環境保全型農業・林業の推進	ケ. 農地・森林の適正管理	コ. 良質で安全な農作物、林産物の生産と商品化
令和5年度	58.8%	19.8%	13.8%	13.8%	15.3%
令和元年度	56.1%	14.4%	9.0%	9.3%	12.2%
平成26年度	56.6%	16.6%	10.1%	8.3%	10.1%
	サ. 事業活動に伴う大気汚染、水質汚濁などの防止の徹底	シ. 事業活動における騒音等の防止の徹底	ス. 職場における従業員への環境教育の実施	セ. M-EMS、ISO等の環境マネジメントシステムの導入・取得	
令和5年度	44.2%	40.0%	42.3%	13.8%	
令和元年度	40.3%	40.8%	40.2%	14.6%	
平成26年度	42.1%	34.0%	41.0%	13.5%	

問7 環境保全に取り組むメリットについて

	1. 経費の節減につながる	2. 事業活動に対する地元住民の理解が得られる	3. 将来にわたって大きなビジネスチャンスとなる	4. 職場が活性化する	5. 社員の意識向上につながる
令和5年度	43.3%	27.6%	8.7%	9.1%	28.0%
令和元年度	34.1%	25.9%	5.6%	8.7%	31.0%
平成26年度	62.0%	33.7%	6.8%	12.7%	47.3%
	6. 事故の未然防止につながる	7. 企業・製品の知名度の向上につながる	8. 取引先からの要請に応えられる	9. SDGs・ESGなどの社会的責任を果たせる	
令和5年度	10.6%	8.3%	14.6%	42.9%	
令和元年度	11.0%	9.6%			
平成26年度	15.1%	10.2%			

問8 環境保全に取り組む上での課題について

	1. 環境保全に取り組むための資金が不足している	2. 環境保全に取り組むための人材(人手)が不足している	3. ノウハウが不足しており、技術的に困難である	4. 情報が不足している	5. 取引先や消費者の協力・理解が得られない
令和5年度	37.3%	29.3%	30.7%	31.3%	5.7%
令和元年度	29.3%	20.8%	28.2%	29.0%	8.7%
平成26年度	28.8%	18.8%	22.2%	23.6%	7.3%
	6. 社内の合意が得られない	7. 取り組むメリットが分からない	8. 専門的な相談先が分からない	9. 自社所有の建物ではないため、設備改修などが行えない	
令和5年度	2.1%	11.9%	13.1%	10.1%	
令和元年度				9.0%	
平成26年度				9.4%	

問9 「三重県地球温暖化対策推進条例」の認知度について

	1. どのようなものかよく知っている	2. 名前は聞いたことがある	3. 知らない
令和5年度	2.7%	34.3%	57.9%
令和元年度	3.9%	35.5%	57.7%
平成26年度	3.1%	40.3%	51.0%

問10 「三重県地球温暖化対策推進条例」に基づく取組について

	1. 「地球温暖化対策計画書」の作成義務があり、計画書を作成している	2. 事業活動に伴う温室効果ガス排出量を把握している	3. 地球温暖化対策に係る目標や措置を定めている	4. 「事業者地球温暖化対策指針」を確認・理解している
令和5年度	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%
令和元年度	28.6%	28.6%	42.9%	50.0%
平成26年度	0.0%	11.1%	22.2%	33.3%

問11 環境保全の取組状況について

※「既の実施している」、「現在検討中である」、「今後取り組む予定」を合算した割合

	ア. 周辺の自然景観に配慮した事業活動の展開	イ. 清掃活動などの自然環境保全活動への参加協力	ウ. 地域における環境美化活動への参加協力	エ. 工場、事業所における緑地の確保	オ. 景観形成基準の遵守
令和5年度	35.2%	50.2%	49.0%	26.0%	29.8%
令和元年度	25.6%	46.7%	45.4%	23.4%	24.5%
平成26年度	28.8%	44.4%	42.8%	22.3%	23.9%
	カ. 地域の緑化活動等への支援	キ. 環境に配慮した事業活動等を題材とした環境学習の機会提供	ク. 環境技術等の情報提供・発信	ケ. 事業所としての環境保全活動の実践	コ. 地域等で行う環境保全活動への参加・協力
令和5年度	27.8%	17.0%	14.4%	33.7%	43.3%
令和元年度	24.0%	11.5%	12.2%	32.3%	39.7%
平成26年度	22.2%	12.9%	11.2%	27.8%	37.5%

問12 環境保全に取り組むメリットについて

	1. 企業イメージの向上につながる	2. 地元住民からの信頼獲得につながる	3. 職場が活性化する	4. 社員の意識向上につながる	5. 企業・製品の知名度の向上につながる
令和5年度	37.1%	55.2%	8.6%	28.5%	9.0%
令和元年度	41.9%	55.1%	20.1%	41.5%	10.3%
平成26年度	47.3%	52.7%	16.5%	37.9%	8.2%

問13 環境保全に取り組む上での課題について

	1. 社会的貢献に関する環境保全に取り組むための資金が不足している	2. 社会的貢献に関する環境保全に取り組むための人材（人手）が不足している	3. 社会的貢献に関するノウハウが不足しており、技術的に困難である	4. 社会的貢献に関する情報が不足している
令和5年度	31.3%	30.7%	24.5%	30.4%
令和元年度	27.6%	28.5%	24.5%	27.3%
平成26年度	29.5%	23.3%	19.8%	23.6%
	5. 取引先や消費者の協力・理解が得られない	6. 社内の合意が得られない	7. 取り組むメリットが分からない	8. 事業所周辺の地元住民の理解が得られない
令和5年度	3.3%	2.1%	10.4%	1.2%
令和元年度	5.1%			2.3%
平成26年度	5.6%			1.4%

問14 伊勢市が重点的に取り組むべき施策について

※「重要である」、「やや重要である」を合算した割合

	ア. 再生可能エネルギー導入の推進	イ. 電気自動車等のエコカーの普及	ウ. 省資源、省エネルギー対策の推進	エ. 3R（発生抑制、再使用、再生利用）の推進	オ. 農地や森林等の保全
令和5年度	68.3%	57.1%	73.7%	71.0%	79.9%
令和元年度	52.4%	60.9%	71.8%	68.5%	74.3%
	カ. 獣害対策の推進	キ. 生物多様性の確保	ク. 自然とのふれあいの増進	ケ. 大気汚染対策の推進	コ. 自動車交通対策の推進
令和5年度	72.4%	66.3%	70.1%	80.2%	77.2%
令和元年度		64.0%	65.9%	74.4%	73.8%
	サ. 川や海の水質保全	シ. 環境美化の推進	ス. 住環境の向上	セ. 歴史的、文化的資産の保存、継承	ソ. 景観に配慮したまちづくり
令和5年度	86.2%	79.9%	78.1%	78.1%	78.7%
令和元年度	79.2%	72.9%	70.7%		67.1%
	タ. 公園、緑地の充実	チ. バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進	ツ. 環境学習機会の充実	テ. 環境に関する情報の提供・共有	ト. 伊勢の環境文化の保全と発信
令和5年度	78.4%	77.5%	69.5%	71.6%	73.6%
令和元年度	69.6%	71.5%	60.9%	66.8%	66.5%

(3) 大学生アンケート

問1 SDGs (持続可能な開発目標) について

	内容を知っていた	内容はよく知らなかったが、聞いたことはあった	聞いたことがなかった
令和5年度	73.3%	24.2%	2.4%
令和元年度	10.5%	17.0%	71.9%

問2 「パリ協定」について

	内容を知っていた	内容はよく知らなかったが、聞いたことはあった	聞いたことがなかった
令和5年度	30.3%	60.6%	9.1%
令和元年度	13.0%	49.7%	36.7%

問5 「適応策」について

	内容を知っていた	内容はよく知らなかったが、聞いたことはあった	聞いたことがなかった
令和5年度	11.5%	27.9%	60.6%
令和元年度	7.7%	21.6%	70.1%

問6 伊勢市の現在の環境に対する満足度および重要度について (満足度)

※「満足している」、「どちらかという満足している」を合算した割合

	ア. 静けさについて	イ. 空気のさわやかさについて	ウ. 日当たりのよさについて	エ. まちなみの美しさについて	オ. まちなみのゆとりについて
令和5年度	63.1%	73.4%	73.4%	61.2%	58.2%
令和元年度	39.5%	50.6%	50.3%	45.7%	45.7%
平成26年度	60.7%	64.2%	66.2%	63.3%	58.3%
	カ. まちなみの清潔さについて	キ. 歴史的な雰囲気について	ク. 自然景観について	ケ. 水辺景観について	コ. 野鳥、昆虫などの生き物とのふれあいについて
令和5年度	55.8%	78.8%	79.4%	47.9%	39.5%
令和元年度	44.5%	62.7%	56.1%	40.5%	26.5%
平成26年度	56.7%	77.7%	74.5%	54.8%	44.9%
	サ. 樹木や草花とのふれあいについて	シ. 土とのふれあいについて	ス. 釣りやサイクリングなどの行楽について	セ. 全般について	
令和5年度	57.6%	37.0%	36.5%	72.2%	
令和元年度	34.0%	27.1%	31.8%	44.4%	
平成26年度	46.5%	39.1%	38.0%	57.4%	

問6 伊勢市の現在の環境に対する満足度および重要度について (重要度)

※「重要である」、「やや重要である」を合算した割合

	ア. 静けさについて	イ. 空気のさわやかさについて	ウ. 日当たりのよさについて	エ. まちなみの美しさについて	オ. まちなみのゆとりについて
令和5年度	84.3%	91.0%	84.9%	92.2%	84.2%
令和元年度	71.9%	77.8%	69.7%	77.5%	69.7%
	カ. まちなみの清潔さについて	キ. 歴史的な雰囲気について	ク. 自然景観について	ケ. 水辺景観について	コ. 野鳥、昆虫などの生き物とのふれあいについて
令和5年度	92.8%	86.7%	89.7%	87.8%	66.6%
令和元年度	78.7%	72.5%	73.5%	70.0%	49.4%
	サ. 樹木や草花とのふれあいについて	シ. 土とのふれあいについて	ス. 釣りやサイクリングなどの行楽について	セ. 全般について	
令和5年度	80.6%	61.2%	65.5%	92.8%	
令和元年度	57.1%	46.3%	58.4%	72.2%	

問7 環境保全の取組状況について

※「いつも実施している」、「時々実施している」を合算した割合

	ア. 日常生活で節電に気をつけている	イ. 省エネルギー型の家電製品を選択して購入している	ウ. 太陽光発電や太陽熱利用などの再生可能エネルギーを利用している	エ. 外出の際には自転車や公共交通機関を利用している	オ. 自動車を運転する際にはエコドライブを実践している	カ. 自動車を購入したり借りたりする際には、ハイブリッドカーや電気自動車等のエコカーを選択している
令和5年度	88.5%	52.1%	24.8%	84.8%	58.2%	26.6%
令和元年度	80.5%	53.1%	35.5%	69.5%	43.5%	34.3%
平成26年度	80.6%	62.6%	41.7%	77.7%	58.1%	36.4%
	キ. 日常生活においてできるだけごみを出さないようにしている	ク. フリーマーケットやリサイクルショップを積極的に利用している	ケ. ごみは地域のルールに従ってきちんと分別し、リサイクルに協力している	コ. 生ごみ処理機を使用してごみを減量している	サ. 生ごみを出すときは水切りを徹底している	シ. 食品ロスを減らすよう努めている
令和5年度	74.5%	37.6%	94.0%	25.5%	76.4%	92.1%
令和元年度	63.0%	42.0%	79.6%			
平成26年度	71.1%	46.8%	85.9%			
	ス. できるだけプラスチックごみが出ないようにしている (マイボトル・マイカップの使用、マイバッグの使用等)	セ. なるべく地域の農林水産物を購入するようにしている	ソ. エコマーク商品など環境に配慮した商品を選択している	タ. 余暇には自然とふれあうように心がけている	チ. 生活排水に気をつけている (油や食べかすを排水口から流さない等)	ツ. 日常生活で節水に気をつけている
令和5年度	75.1%	66.0%	54.0%	58.8%	79.4%	87.9%
令和元年度	63.3%	46.9%		51.5%	64.8%	74.0%
平成26年度		55.4%		60.0%	72.2%	79.0%
	テ. 宅配ボックス、置き配、日時指定などを活用し、再配達を削減している	ト. 地域の清掃活動や植樹活動に積極的に参加している	ナ. 家庭や地域で環境教育を実施または参加している	ニ. 環境に対してよいと思うことを人に勧めたり、広めたりしている		
令和5年度	71.5%	34.6%	38.2%	38.2%		
令和元年度			48.1%	52.2%		
平成26年度			41.6%	53.4%		

問8 環境保全の取組を促進するために必要なことについて

	1. 大気・水質浄化の状況など、取り組んだ行動の環境保全効果が目に見えること	2. 省エネによる光熱費節約やエコポイントの獲得など、直接的なメリットがあること	3. 環境保全のマニュアルやチェックリストなど、取組方法についての資料が手に入ること	4. 自分だけでなく、みんなと一緒に取り組む運動として行うこと
令和5年度	59.4%	54.5%	30.9%	53.3%
令和元年度	52.8%	44.4%	16.7%	50.6%
平成26年度	37.7%	41.6%	17.4%	42.3%
	5. 補助金など、支援制度が使えること	6. 表彰制度など、行動の励みとなるものがあること	7. 法令等による規制を強化すること	8. 環境について学ぶ機会があること
令和5年度	41.8%	17.6%	27.3%	48.5%
令和元年度	31.5%	16.7%	21.0%	38.3%
平成26年度	28.5%	15.7%	11.8%	

問9 環境保全に関連した市民活動の取組状況

	1. 取り組んでいる	2. これまでに取り組んだことがある	3. 取り組んでいない
令和5年度	5.5%	26.1%	68.5%
令和元年度	3.4%	16.0%	76.9%
平成26年度	6.2%	19.7%	68.9%

問9 取り組んでいる、取り組んだことのある活動内容

	1. 地球温暖化防止活動	2. リサイクル・廃棄物削減の活動	3. 環境に配慮した消費・生活の普及活動	4. 森林の保全・緑化活動	5. 自然保護活動
令和5年度	28.8%	34.6%	7.7%	19.2%	11.5%
令和元年度	25.4%	46.0%	6.3%	15.9%	19.0%
平成26年度	8.9%	54.4%	20.3%	13.9%	30.4%
	6. 水環境保全活動	7. 大気環境保全活動	8. 町内清掃等の地域の生活環境管理活動	9. 環境教育・学習会の開催等の活動	
令和5年度	7.7%	5.8%	53.8%	13.5%	
令和元年度	7.9%	3.2%	38.1%	4.8%	
平成26年度	8.9%	7.6%	10.1%	15.2%	

問9 環境保全に関連した市民活動の今後の意向

	1. 取り組みたい	2. 取り組みたくない
令和5年度	80.0%	20.0%
令和元年度	71.0%	23.5%
平成26年度	70.2%	19.3%

問9 今後取り組みたい活動内容

	1. 地球温暖化防止活動	2. リサイクル・廃棄物削減の活動	3. 環境に配慮した消費・生活の普及活動	4. 森林の保全・緑化活動	5. 自然保護活動
令和5年度	38.6%	43.9%	25.0%	40.2%	41.7%
令和元年度	38.3%	34.8%	20.0%	27.0%	33.9%
平成26年度	15.9%	41.6%	24.8%	30.8%	34.6%
	6. 水環境保全活動	7. 大気環境保全活動	8. 町内清掃等の地域の生活環境管理活動	9. 環境教育・学習会の開催等の活動	
令和5年度	27.3%	21.2%	39.4%	25.0%	
令和元年度	13.0%	11.7%	19.6%	11.7%	
平成26年度	15.0%	11.7%	8.9%	13.1%	

問11 市民活動に取り組んでいない、取り組みたくない理由

	1. 活動する時間がないから	2. 活動に関する情報が得られないから	3. 活動を行う資金がないから	4. 参加する手順がわからないから	5. 知っている人が参加していないから
令和5年度	50.0%	34.2%	16.4%	24.0%	13.7%
令和元年度	64.0%	20.7%	15.7%	21.1%	11.9%
平成26年度	43.5%	19.0%	9.7%	19.3%	8.9%
	6. 社交が苦手だから	7. 何もメリットがないから	8. 活動団体が本来の活動をしていないから	9. 市民活動に興味がない	10. 楽しくないから
令和5年度	20.5%	6.2%	4.1%	10.3%	4.1%
令和元年度	11.5%	4.6%	1.9%	7.7%	6.1%
平成26年度	7.8%	5.6%	3.3%	7.1%	4.8%

問12 伊勢市がめざすまちの姿について

	1. 太陽光などの再生可能エネルギーを積極的に利用するまち	2. 電気自動車等のエコカーが普及したまち	3. エネルギー消費が少なく、温室効果ガスの排出が少ないまち	4. ごみの減量やリサイクルに積極的に取り組むまち	5. 森林など多くの自然が残されているまち	6. 海、河川、池がゆたかできれいなまち
令和5年度	14.3%	12.6%	11.8%	19.3%	36.1%	39.5%
令和元年度	29.6%	16.7%		29.0%	27.8%	29.0%
平成26年度	24.6%	12.8%		31.8%	31.5%	36.4%
	7. 公園や街路樹などの緑が多いまち	8. 鳥や昆虫などとふれあう場所が残されているまち	9. イノシシ・アライグマ等の野生鳥獣による農作物被害や生活被害の少ないまち	10. 飲料水がおいしいまち	11. 公害問題も少なく、安心して住めるまち	12. 明るく、清潔なまち
令和5年度	15.1%	8.4%	2.5%	11.8%	15.1%	19.3%
令和元年度	13.3%	7.1%	3.7%	25.9%	17.6%	27.2%
平成26年度	16.1%	5.2%		18.4%	14.8%	20.3%
	13. まちなみが整然として、美しい景観のまち	14. 文化的遺産が多く、歴史的雰囲気のあるまち	15. 自然・歴史と都市化が共存した美しいまち	16. 通勤、通学、ショッピングなどの交通の便がよく、効率的なまち	17. 高齢者や障がい者、子育て世代にやさしいまち	18. 環境について学んだり、環境保全活動に参加したりする機会の多いまち
令和5年度	17.6%	25.2%	21.0%	20.2%	7.6%	2.5%
令和元年度	15.1%	18.8%	20.7%	22.2%	9.6%	6.2%
平成26年度	13.8%	20.0%	14.1%	18.4%	5.9%	3.3%

問14 伊勢市が重点的に取り組むべき施策について  
 ※「重要である」、「やや重要である」を合算した割合

	ア. 再生可能エネルギー導入の推進	イ. 電気自動車等のエコカーの普及	ウ. 省資源、省エネルギー対策の推進	エ. 3R（発生抑制、再使用、再生利用）の推進	オ. 農地や森林等の保全
令和5年度	87.5%	67.2%	89.9%	89.1%	96.7%
令和元年度	76.5%	75.4%	82.4%	82.1%	82.7%
平成26年度	77.7%	74.4%	81.7%	86.6%	87.5%
	カ. 獣害対策の推進	キ. 生物多様性の確保	ク. 自然とのふれあいの増進	ケ. 大気汚染対策の推進	コ. 自動車交通対策の推進
令和5年度	86.6%	89.9%	85.7%	92.4%	87.5%
令和元年度		78.4%	76.8%	81.2%	79.9%
平成26年度		84.6%	87.5%	87.8%	84.3%
	サ. 川や海の水質保全	シ. 環境美化の推進	ス. 住環境の向上	セ. 歴史的、文化的資産の保存、継承	ソ. 景観に配慮したまちづくり
令和5年度	97.5%	95.0%	91.6%	93.3%	95.0%
令和元年度	82.1%	84.9%	79.0%		81.2%
平成26年度	87.5%	88.2%	87.6%		87.9%
	タ. 公園、緑地の充実	チ. バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進	ツ. 環境学習機会の充実	テ. 環境に関する情報の提供・共有	ト. 伊勢の環境文化の保全と発信
令和5年度	89.0%	95.9%	89.1%	90.7%	89.9%
令和元年度	80.9%	82.1%	78.1%	79.4%	79.9%
平成26年度	85.3%	86.9%	81.0%	84.9%	84.6%